

教材2 有権者レーダーをつくろう！

～政策を読み解く「自分の軸」探し～

マニフェストってどう読めばいいのだろう。政党や政策を比較するとき、自分に関わりのある政策分野を考えることや、自分が大切にしたい軸を見つけ、マニフェストを主体的に読み比べられるようになろう！というもの。自分なりの“こうなって欲しい日本の未来”を考えた上でマニフェストを読み解き、政治を自分ごとにするきっかけとする。地域にフォーカスしたもの。

1 学習の進め方

全体の流れと所要時間

- ・自己紹介・・・10分
- ・政策メガネをかけてみよう・・・30分
- ・政策マップをつくろう！・・・40分
- ・有権者ジャーニーマップをつくろう！・・・30分
- ・有権者レーダーをつくろう！・・・30分
- ・まとめ・・・20分

2 具体的な手順

(1)自己紹介・アイスブレイク(10分)

①やること

- ・名前、ニックネーム、最近あった良いことと悪いことをA4用紙に書く。
(5分)
- ・1人1分程度で自己紹介をする。(5分)

②準備する物

- ・A4用紙
- ・マジックペン
- ・プロジェクター、スクリーン
- ・名札

(2)政策メガネをかけてみよう(30分)

①やること

地域のいろいろな場面を撮影した写真を見ながら、身の回りの生活に潜んでいる政策を探し出す。つまり政策メガネをかけてまちを見る。

②ねらい

身の周りには「政策」があふれているので、身の周りから出発して「政策」を網羅的に捉える。

③準備する物

- ・小付箋紙
- ・付箋紙(黄色)
- ・模造紙
- ・駅前など街を映した写真数点(A4判拡大)

④進め方

ア 身の周りの「政策」(15分)

地域のいろいろな場面を撮影した写真を提示する。

・写真を見て、「これって政策と関わりそう」、という人・モノ・でき事をたくさん見つけて、小付箋紙を貼っていく。(5分)

・各グループが見つけた政策を発表し、全体で共有する。(10分)

多くの政策を出せたグループを勝ちとするなどゲーム性を持たせる。



この写真であれば、自転車が歩道からはみ出て道路に止められているから「道路の整備」「放置自転車対策」といった感じで付箋紙に書き出す。



この写真であれば、高齢者がいるから「高齢者向け政策」、ベビーカーを押している人がいるから「子育て政策」という感じで付箋紙に書き出す。

イ 政策あれこれ(15分)

・個人ワーク(5分)

アの「身の周りの「政策」」ワークを参考にしながら、世の中に存在する「政策」を、思いつくかぎり付箋紙に書き出す。

道路整備、景観整備、公園整備、公共事業、教育、大学生、財政、福祉、教育といった大括りなもの、消費税増税、健康保険制度といった具体的なもの、共に可。

※参考になる本、行政の長期計画やホームページを参照しても良い。

・グループワーク(10分)

書き出したものをグループ内で共有し、大カテゴリに○をつけながら、グルーピングする。

ウ 発表

- ・各グループで見つけた政策を1つずつ発表し、全体で共有する。
- ・出された政策について、実は国の政治と地域の政治の分類があることを示す。

エ ふりかえり

政策は身の周りにたくさんあること、国と地域の政治の分類を再確認する。

⑤注意すること

- ア 個人ワークが行き詰っているようであれば、流れでグループワークに移行して、グループで考えても良い。
- イ グルーピングの際は、政策分野(大カテゴリ)なのか政策(小カテゴリ)なのかを区別する。
- ウ 自分の関心のある政策を洗い出すとともに、他の人の関心のある政策を知り、「こんな政策もあるんだ」という気づきを得ることを目標にする。

(3)政策マップをつくろう！(40分)

①やること

政策マップをつくって、政策と人・モノ・でき事を関連づける。

- ア 誰のため・何のための「政策」？(35分)
- イ 政策レクチャー(5分)

②ねらい

- ア 政策のステークホルダーを考え、政策についての理解を深める。
- イ 自分に関連すること以外にも、様々な人・モノ・でき事が関わっていることを実感する。

③準備する物

- ・ 付箋紙(ピンク色)
- ・ 模造紙
- ・ 政策レクチャー資料

④進め方

- ア 誰のため・何のための「政策」？
 - A (2)の「政策メガネ」で自分が出した政策の中から、一人一つを選択する。
国の政治ではなく、地域の政治に関わるものを選ぶ。

B その政策に関係のある「人・モノ・でき事」を考え、思いつくだけ付箋紙に書き出す。個人ワーク(3分)

※注意すること

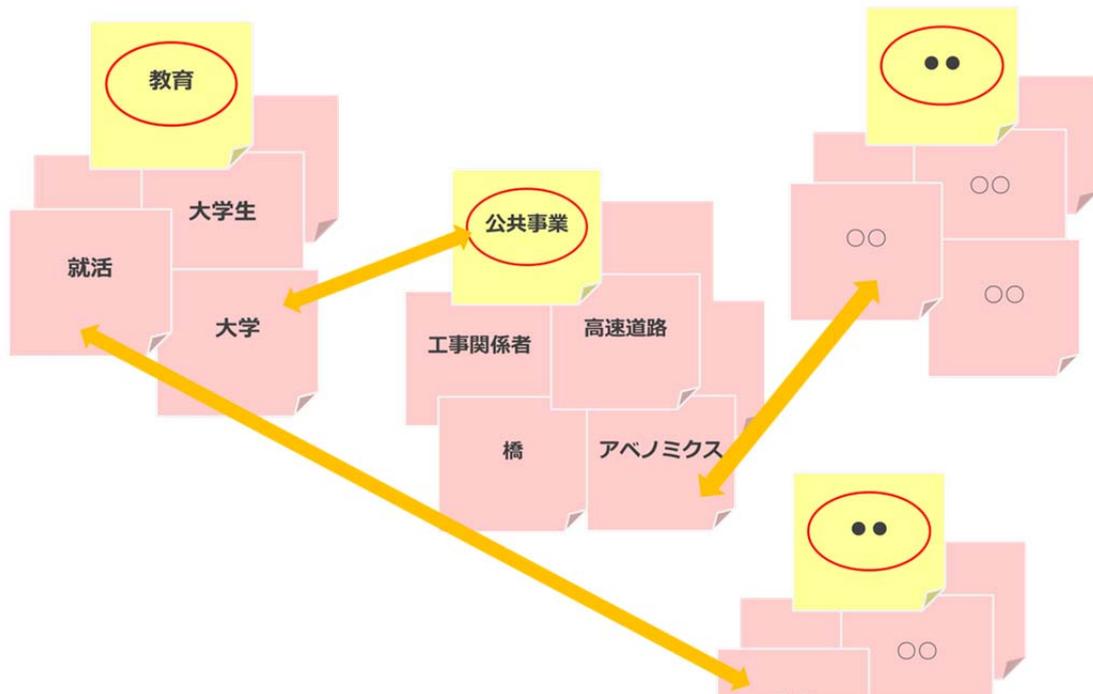
- ・「人」に関しては、子ども、お年寄り、失業者、外国人…などを想定。
- ・「モノ」に関しては、道路、病院、公園といったインフラや、結婚、出産、退職といったイベントを想定。

C グループで共有し、模造紙上にグルーピングして「政策マップ」をつくる。グループワーク(5分)

D A、B、Cを2回繰り返す。(25分)

E 似た政策、近い政策、関わる人・モノ・でき事が似ているなど、付箋紙をまとめたり、線をつないだりして「政策マップ」をまとめ直す。(10分)

まとめ直して「政策マップ」完成



イ 政策レクチャー

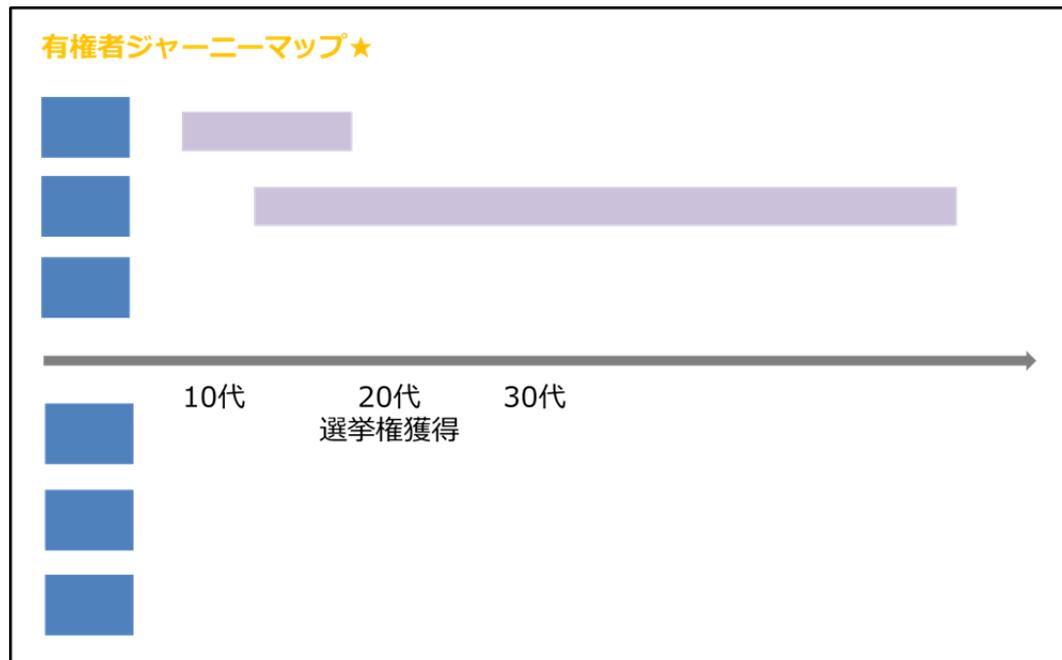
前半部のまとめとして、政策について確認する。(5分)

- ・身の周りの様々な人・モノ・でき事が関わっていること
- ・政策と政策分野について(大区分と小区分)
- ・だいたいの政策・政策分野(地方政治)

政策	政策分野	政策	政策分野
福祉	結婚	環境	ごみ
	出産		公害
	子育て		エネルギー
	高齢者	インフラ	道路・河川
	障がい者		公共交通
雇用	公共施設		
医療、保健、衛生	ライフライン		
防災、都市計画	IT		
教育	就学前	文化	芸術
	小学生		スポーツ
	中学生		地域活動
	高校生	経済	農業
	高等教育		工業
	生涯学習		商業
財政	地方税		観光業・サービス業
国際			

※政策・政策分野の分け方は、研修会を実施する当該地域の自治体の分け方等を参考にしてください。

(4)有権者ジャーニーマップをつくろう！ (30分)



①ねらい

自分や自分の身の周りの人々の人生と政策のつながりを捉える。

年齢、世代、ライフステージごとに、そして人によって各政策・政策分野との関係性が異なることや、その面白さを知る。

「有権者ジャーニーマップ」を見ると、いま自分に直接関係のある政策のみならず、将来自分に関係しそうな政策も分かる。

②準備する物

- ・ 模造紙
- ・ 紙テープ(リボン)
- ・ 自分の位置マーク(丸いシールなど)

③進め方

ア 模造紙(横置き)の左側縦軸に政策・政策分野を置き、横軸に年代を示す。

イ 政策・政策分野を8つ選び、書き込む。(5分)

例えば医療、雇用、交通、教育、社会保障、自然環境、国際、防災・防犯、観光、経済、公共施設・設備、コミュニティなど。

ウ それぞれの政策・政策分野が、人生のどの場面(年代)で関わってくるかを考えて、紙テープを貼る。グループワーク(10分)

エ 自分の位置を確認し、シールを貼るなどしてマーキングする。その後、家族、友人など自分の身の周りの人の位置を確認する。個人ワーク(5分)

オ 各グループで作成した有権者ジャーニーマップを発表する。ほかのグループの有権者ジャーニーマップも見て、全体で共有する。(10分)

(5)有権者レーダーをつくらう！ (30分)

②関心度を10段階で評価し、点を記入→線で結ぶ
 *ジャーニーマップで考えた、自分や自分の身の周りとの関連を考えつつ…
 ③とくに関心の高い政策ベスト3について、その理由を考え、言語化
 シールに記入し、貼る
 ④3つの軸で分析する
 ⑤ほかの人に名づけてもらう

分析

★一つの政策に強い関心？
 多くの政策に関心？

← 一つ → 複数

★自分中心？社会中心？

← 自分 → 社会

★関心のある政策は似てる？違う？

← 似てる → 異なる

YouthCreate

①やること

ア 政策を順位づける。

イ ベスト3を選び、なぜそれが大事かを文章化する。

ウ 分析

エ 命名

②ねらい

自分や自分の身の周りの人々との関連をヒントにして、投票の際の自分の軸を決める。

③準備する物

⇒ワークシート1「有権者レーダー」(26頁)

④進め方

ア 有権者ジャーニーマップで考えた政策を書き写す。

イ それぞれの関心度を10段階で評価し、点を記入して線で結ぶ。

* ジャーニーマップで考えた、自分や自分の身の周りとの関連を考えつつ…

ウ 特に関心の高い3つの政策・政策分野について、その理由を考え(文章化)、付箋紙に書き出して貼る。

エ 3つの軸で分析(自己評価)する。

- ・ 1つの政策に突出して関心があるかどうか
- ・ 自分中心か社会中心か
- ・ 政策のばらけ具合(ここで政策マップを活用)

※ここまで個人ワーク(15分)

オ 「有権者レーダー」をグループ内で発表し、共有する。

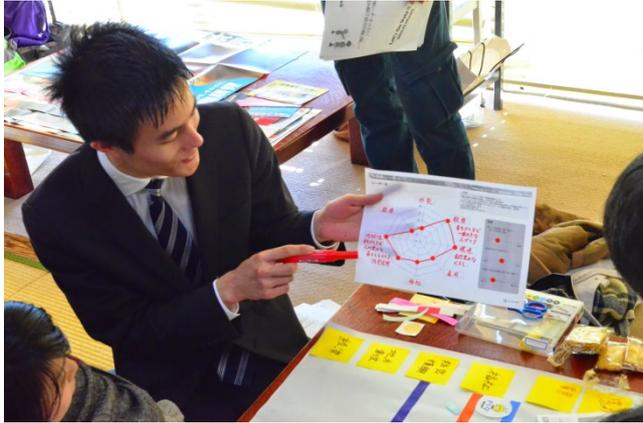
互いに質問をし合い、その人の「有権者レーダー」に反映された価値観に迫りながら、グループの人がその人の「有権者レーダー」にタイトルをつける。

グループワーク(15分)

⑤注意すること

ア もともとの関心、新たに気づいた関心を比較し、深め、投票の際の軸を「有権者レーダー」として定める。

イ さらに、他者に「有権者レーダー」のタイトルをつけてもらうことで、3つの軸に潜んでいる「政策を読み解くときの人生のテーマ」を浮き彫りにする。



(6)まとめ

「身の周りは政策だらけ！政治・政策と自分の関わり、政策と自分のライフステージの関係を確認し、政策を読み解く自分の軸をつくる」

学んだことのおさらいとして、以下のことを確認する。(5分)

世の中には様々な政策があり、国・自治体によって異なる。知らないものがあれば、積極的に調べてみる。

自分とその政策のつながりは、政策に関連する人・モノ・でき事を通して感じることができる。政策の良し悪しの判断に困ったら、政策を人・モノ・でき事の観点から分解してみよう。

今回つくった「有権者レーダー」を参考に、受け身にならずに政治を読み解いてほしい。まずは自分の視点から、慣れてきたら周りの人・社会全体の視点から。

投票に行きましょう。

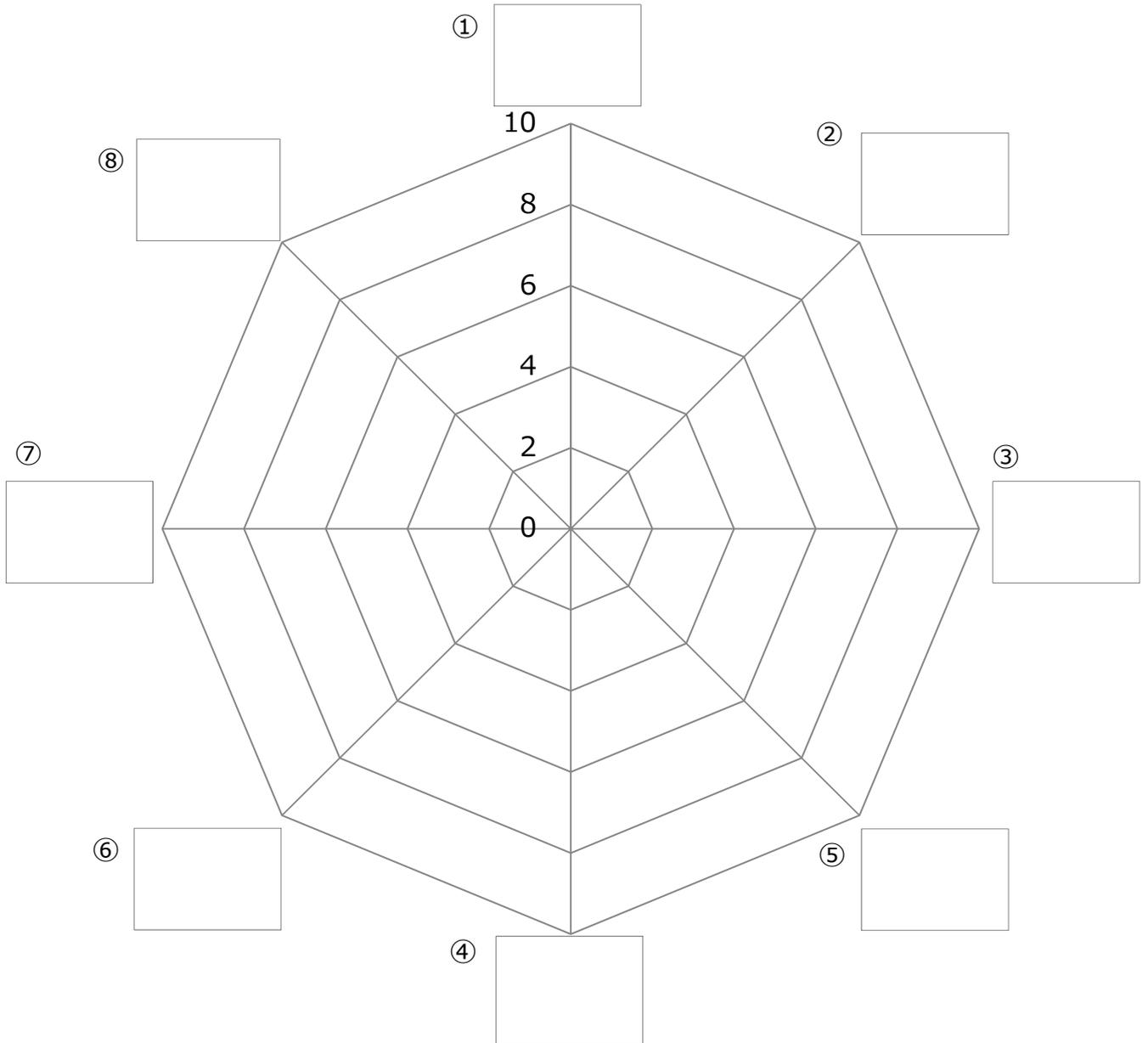
有権者レーダー = 能動的有権者宣言！

政治を意識してみてください。

レーダー名

【手順】

- ①ジャーニーマップで考えた政策を書きうつす
- ②関心度を10段階で評価し、点を記入→線で結ぶ
*ジャーニーマップで考えた、自分や自分の身の周りとの関連を考えつつ…
- ③とくに関心の高い政策ベスト3について、その理由を考え、言語化シールに記入し、貼る
- ④3つの軸で分析する
- ⑤ほかの人に名づけてもらう



分析

★一つの政策に強い関心？多くの政策に関心？

← 一つ → 複数

★自分中心？社会中心？

← 自分 → 社会

★関心のある政策は似てる？違う？

← 似てる → 異なる